

平成27年度
秋期特別展

後世に残したい
相模川流域の地球遺産
—相模川をジオパークに—

を終えて

秋期特別展「後世に残したい相模川流域の地球遺産 —相模川をジオパークに—」が、去る11月29日(日)に閉幕しました。本特別展は相模川流域に残る多様な自然遺産や文化遺産を取り上げ、各地域で暮らす皆さんに、その地域の価値を再確認して貰いたいと考えて企画したものでした。開催にあたっては、流域の市町村や、博物館など諸機関から様々な協力を受け、地域としても分野としても幅広い範囲にわたる展示を行うことができました。ご協力頂いた皆様には厚く御礼申し上げます。

期間中に実施した関連行事も、好評のうちに終了しました。特に11月8日の記念講演会「相模川をジオパークに」では、平塚市内だけでなく流域の様々な地域から参加がありました。講演では、相模川流域の地球遺産の紹介にはじまり、相模川の成り立ちと日本列島の形成との関わりや、流域の地球遺産を今後保存し

活用していくために地域と人々はどうあるべきか、等について講師陣からじっくり解説があり、参加者からも活発な意見が交わされました。

今回の展示は「相模川流域の自然と文化」をテーマとする平塚市博物館らしさを前面に押し出したものとなったと思います。この展示が、今まで広く知られていなかった相模川流域の魅力と価値を再発見するきっかけとなり、流域の皆さんがさらに地域に誇りを持つことに繋がれば幸いです。

2階情報コーナーでは、12月12日(土)からポスト特別展として、秋期特別展の一部を再度展示します。秋期特別展を見逃した方も、十分に見足りなかった方も、ぜひ足をお運び下さい。



↑記念講演会の様子。会場がほぼ満員になるほどの参加がありました。